

『ジェンダーインスティチュートジャーナル』 原稿募集のご案内

下記の通り、『ジェンダーインスティチュートジャーナル』第41号（2027年3月発行予定）の原稿を募集します。

1. 提出締切 2026年10月31日（土） 厳守してください。

2. 投稿資格

- ・ 原稿を執筆し、本誌に投稿できる者は、『神戸女学院大学論集』規程第3条各項に定める投稿資格に準じます。
- ・ 学校法人神戸女学院教職員就業規則第2条に定める専任の教学職員
- ・ 学校法人神戸女学院大学嘱託職員就業規則第2条に定める嘱託教学職員
- ・ 本学大学院博士前期課程または修士課程修了者
- ・ 本学大学院博士後期課程修了者又は単位取得満期退学者
- ・ 本学大学院博士後期課程在学中の者
- ・ 本学卒業生で修士の学位を有する者
- ・ ジェンダーインスティチュート委員会で認めた者

3. 研究倫理研修の受講証明の提出

- ・ 投稿にあたり、全ての執筆者（共同執筆者も含む）は、所属研究機関が実施する「研究倫理研修」を受講してください（依頼原稿執筆者を除く）。
- ・ 本学研究所員以外の方は、所属研究機関発行の「受講証明書」を投稿時にご提出ください。
- ・ 所属研究機関がない方は、以下のリンクから日本学術振興会の「研究倫理 e ラーニングコース」を受講し、受講証明書を提出してください。

<https://elcore.jsps.go.jp/top.aspx>

4. 原稿の内容・種類

【内容】 ジェンダー研究、女性学とその関係領域に関するものであること。

- 【種類】
- ① 論文：独創的な研究結果、新規な方法・結果等で信頼性が認められる研究成果、理論的な考察と明確な結論を順序立てて明瞭に記述したもの。学術的に価値のある内容を含むもの。
 - ② 研究ノート：速報性が認められるもの。史料、書誌、調査、統計、実験などの研究報告およびプロジェクト・催事企画などの活動・取り組みの報告、理論的・実証的研究の中間報告。
 - ③ 書評：投稿時点で刊行から概ね2年以内の刊行物についての紹介・批評。対象物の単著・共著は問わない。他言語からの翻訳書も含む。
 - ④ 講義録：神戸女学院大学ジェンダーインスティチュート主催により行われた講演会や連続セミナーの講演者に対して、ジェンダーインスティチュート委員会から執筆を依頼した報告。

5. 原稿の分量

原稿種類	原稿分量
論文	(1) 邦文原稿 本文・注・文献リスト・図表をあわせて24,000字以内（16頁以内）とする。 (2) 欧文原稿 本文・注・文献リスト・図表をあわせて10,000語以内（20頁以内）とする。
研究ノート	(1) 邦文原稿 本文・注・文献リスト・図表をあわせて14,400字以内（10頁以内）とする。 (2) 欧文原稿 本文・注・文献リスト・図表をあわせて6,000語以内（12頁以内）とする。
書評	(1) 邦文原稿 本文・注・文献リスト・図表をあわせて7,500字以内（5頁以内）とする。 (2) 欧文原稿 本文・注・文献リスト・図表をあわせて3,125語以内（6頁以内）とする。
講義録 (依頼原稿に限る)	指定なし

- ・ 日本語原稿：目安としては、A4 判縦置き用紙に 42 文字×37 行 10.5 ポイントで作成すると、1 頁あたり 1,500 文字前後、16 頁で約 24,000 文字となります。
- ・ 原稿募集の案内メールに添付、またはホームページに掲載しているテンプレートを参考にしてください。

- ・ 投稿原稿の使用言語は、日本語または英語とします。

6. 執筆スタイル

- ・ 原則として横書き。ただし、内容の性質上縦書きでなければならない場合はこの限りではありません。
- ・ 今回の投稿に際し、準拠した執筆スタイルを、投稿カードの執筆スタイル欄に明記してください。

7. 原稿の構成

- ・ タイトル：日本語と英語
- ・ 要旨（Abstract）：日本語（500 字以内）と英語（300 語以内）、ただし書評・講義録は要旨不要
- ・ キーワード（Keywords）： 3～5 語（日本語・英語併記）。英単語は小文字ではじめてください（ただし固有名詞は大文字ではじめてください）。
- ・ 本文
- ・ 注：脚注、後注 いずれも可
- ・ 引用文献リスト（参考文献リスト）
- ・ 図・表：別ファイル（挿入位置、サイズを指示）

8. 費用

- ・ 原則として無料。ただし、規定の頁数を超過する場合やカラー印刷を希望される場合は、別途実費を請求します。

9. 提出物

- ・ 原稿
- ・ 投稿カード
- ・ 「研究倫理研修」受講証明書（本学専任教員以外の方、依頼原稿執筆者を除く）

10. 提出方法

- ・ 提出物をメールで送付、またはジェンダーインスティテュートへお持ちください。
- ・ メール宛先 : wsi-o@mail.kobe-c.ac.jp
件名：ジェンダーインスティテュートジャーナル（投稿）
- ・ 原稿は図表も含めた Microsoft Word 等によるデジタルデータとしてください。使用した図・表の PDF も併せて提出してください。
- ・ 原稿到着後、すみやかにジェンダーインスティテュートから投稿者へ受領確認メールを送ります。
*休業日をはさむ場合、ご連絡が遅くなることもありまので、ご了承ください。
*1週間経過しても受領確認メールが届かない場合は、ジェンダーインスティテュートまでお知らせください。

11. 所属（肩書）

- ・ 本学での所属（肩書）にくわえて、任意の所属（肩書）も追加できます。
(例) 神戸女学院大学 国際学部 非常勤講師、〇〇大学 〇学部 専任講師
本学での所属（肩書） 任意の所属（肩書）

12. ネイティブチェック

- ・ 母語以外の言語によって執筆された要旨（日本語・英語）や本文は、必ずその言語の専門家によるチェックを受け、ご投稿ください。
- ・ 必要な方には、ジェンダーインスティテュートで専門機関を紹介します。

13. 校正

- ・ 執筆者による校正は再校までです。

14. 抜刷

- ・ 一原稿に対し 50 部まで無料です。50 部を超えて希望される場合は 50 部を単位としてお申込みください（執筆者実費負担）。

15. 著作権

- ・ 投稿する原稿は、いずれも他に未発表のものに限ります。他で審査中または掲載予定となっている場合は二重投稿とみなし、本誌への投稿を認めません。
- ・ 研究報告又は研究ノートを研究論文として投稿される際は、それぞれの学術分野の基準に照らして二重投稿にならないよう特にご留意ください。
- ・ 掲載された原稿の著作権は、神戸女学院大学ジェンダーインスティテュートに帰属します。
- ・ 原稿は、要旨および本文ともに、機関リポジトリを通じてインターネット上で公開（オープンアクセス）されます。

投稿論文等が、ジェンダーインスティテュート委員会で掲載できないと判断されるときは、掲載をお断りする場合があります。

< 連絡先 > 神戸女学院大学 ジェンダーインスティテュート（ジュリア・ダッドレー記念館 301 室）

8:50～16:50（昼休み 11:45～12:45） 内線：8545

TEL：0798-51-8545 FAX：0798-51-8527

Email: wsio@mail.kobe-c.ac.jp